

平成 29 年度 但馬定住自立圏共生ビジョン懇談会（但馬分科会）
会議録（要旨）

日 時	平成 29 年 10 月 31 日（火） 但馬分科会 10:00～11:30
場 所	豊岡市役所 3 階 庁議室
出席者	但馬分科会 9 名中 7 名
欠席者	但馬分科会（公立豊岡病院組合理事、公立八鹿病院事務部長）
事務局	豊岡市（大交流課課長補佐、政策調整部長、政策調整課長、政策調整係主査）
関係市町	養父市（企画政策課主幹） 朝来市（総合政策課主査） 香美町（企画課主幹） 新温泉町（企画課長）
オブザーバー	兵庫県企画県民部市町振興課 職員

◎協議

分科会長	ここから私の方で進行させていただきます。よろしくお願ひします。事務局から定住自立圏の取組内容の進捗状況について説明をお願いします。
事務局 （委員）	<説明> 【定住自立圏の取組内容の進捗状況】 有害鳥獣の関係ですけど、現状値の報告があり、目標値の見直しの話もありましたが、見直しが必要かと思ひます。捕獲について詳しいことは分かりませんが、山間部では以前に増してシカの頭数が増えたと聞いています。香美町全体でも一昨年と比較して 10 倍となっているようで、桁外れな増え方をしています。ぜひ、目標値の見直しをしていただければと思ひます。
事務局	現在は、養父市と豊岡市で連携して、それぞれに捕獲の計画を作成しています。ビジョンの目標値は、その各市の目標値を参考にして設定しています。また、協定は締結していませんが、自治体境を中心に但馬全域を県が主体となって捕獲を実施していますので、今後、各市での計画の変更がなされ、目標値を変更するかどうかの動向を見ながら、必要があれば目標値の変更をしていきたいと思ひます。あわせて、各自治体で連携した捕獲が実施できるかどうかは担当課等に確認したと思ひます。
副分科会長	捕獲の現状値は全市町の合計でしょうか？
事務局 （委員）	養父市と豊岡市の合計です。 若干、補足をさせていただきます。養父市と豊岡市は連携して捕獲を実施していて、朝来市も少しだけですが連携して実施しています。しかしながら、香美町と新温泉町とは広域的にはやっていません。3 市 2 町の猟友会はすべてバラバラです。現在、養父市は環境省の捕獲事業で認定事業者が 10 名程度、10 月から保護地域である標高 800m 以上の高地（氷ノ山、ハチ高原）一帯を 10 月 16 日から箱ワナとくくりわなで、11 月から県の猟友会が銃器による駆除を 7 回程度実施する予定です。認定事業者の講習への参加ですが、養父市は 16 名、朝来も 8 名くらいありましたが、豊

岡市や香美町は2名程度で少なかったです。この事業は、自治体単位で実施できる体制を組織しないといけません。地理的なこともあります。地元との因果関係もあって、神戸とか姫路の猟友会を連れてきて捕獲事業をやることは難しいです。近隣市町であっても猟友会同士が協力していない現状があります。香美町もそうですが、山の奥は有害捕獲で徹底的にやられていますので、これからの積雪時期になれば、下に降りてきます。昨年度からの調査では三河権現のところまでだんだんとシカが出てきていると聞いています。有害捕獲も今日までが期限です。環境省の事業で養父市の一带と豊岡市の一部についても、15名くらいで捕獲を実施していますので、補足的にお伝えしておきます。

(委員) 指標結果について、目標は平成33年度ですが、今回は中間報告のような形であると思いますが、現状値で進捗が達成や順行の項目については、今後、何かアクションを考えられるのでしょうか。

事務局 総務省の要綱では、進捗管理をしたうえで、次期ビジョンの見直しの参考にしなさいということがあります。現在は、単年度で進捗状況の把握をしていますが、例えば、今年は進捗が良い取組みが、一転して来年は悪くなったとなれば、実際にどう評価するのかといったことになります。5年間トータルで考えないといけないと思います。今回は、取組みの現状値がどうであるかを委員の皆さんに提示させていただき資料として位置付けていますので、今年度に達成できたからといって、取組みを終了するといったものではありません。

(委員) ジオパーク推進事業の関係で成果指標が施策単位で設定となっていますが、具体的にはどういったことでしょうか。豊岡市長も先日、「一体、ジオパークで何人の人を呼べているのか調査が必要だ」と仰っていましたが。

事務局 ジオパーク推進事業だけで成果指標を設定することが難しかったため、観光の振興といった大きな括りでの成果指標として「但馬全体の観光入込客数」としました。ジオパーク推進事業単独で「こんな指標があるよ」といったことがあれば、追加することも可能ですのでご教示いただければ幸いです。

(委員) ジオパークにはジオサイトがありますので、それぞれの入込数を把握していると思います。但馬の観光入込客数の算出もそれを基にしていると思いますので、各市町で把握されているとは思いますが。

(委員) 今後、目標値の見直しをされると思いますが、ドクターカーの運行回数が指標として相応しいのかということが疑問です。例えば、「救命率の向上」とかが良いのではと思います。また、出会いの機会の提供といったことも成果指標は参加者数ではなく、婚姻数で把握すべきだと思います。独身男女が結ばれるということが一番大切ですので、そのような考え方が良いと思います。先ほど、貸与医師の地元定着率の実績値がなかなか把握できないといったことがありましたが、これも個人情報との関係といった部分があるのではないかと思います。そもそも、定着率の定義が何年住んでいるのかといったことにもなりますし、どのような定義をされているのか教えていただければと思います。

事務局 医師になられて但馬以外の各地に研修で勤務されたりといったケースもありますので、地元で定着するといった定義をどうするかということは、豊岡病院組合と検

討を行いました、医師の移動について数字をおさえておられないこともあり、指標設定に最も苦慮した点でもあります。今後も引き続き、把握方法や定義について検討をしていきたいと思ひます。

(委員) 医師の住所にしてしまうと、家族の関係もあり住所を置いたまま移動される医師もおられますので、難しいかと思ひます。あと、職員研修の参加者数ですが、但馬広域の取組みを記載していただひていますが、数字ということだけで良いのかといったことでもあります。各市町からより多くの職員に参加していただくような取組みをお願いしたいです。

分科会長 他に無いようでしたら次に進みます。共生ビジョンの変更にあたっては、この懇談会が協議・懇談の場となっており、この場での検討を経る必要があります。忌憚のないご意見を頂戴したいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

事務局 <説明> 【共生ビジョンの変更について】

(委員) ドクターカー運行事業ですが、本年5月から24時間運行となったとお聞きして、事業費が今年度増えて、来年度から下がっているのはなぜでしょうか。

事務局 今年度は車両の更新で事業費が上がっています。来年度からは通常ベースに戻る予定です。

(委員) 但馬で出産できるのは豊岡病院だけですか。

事務局 経産婦は八鹿病院でも可能となっています。

(委員) 但馬の出生件数を見た時に、利用者の割合はどうなっていますか。香美町でも鳥取の病院に行かれると聞いたことがありますので、もし、分かればその辺の利用度合いはいかがでしょう。

事務局 今は全体的な各市町別の数字を持っておりません。

分科会長 他に無いようでしたら次に進みます。資料送付文書に記載してありましたが、皆さん各分野から選出いただひています。その分野の内容でも、それ以外でも結構です。日頃から但馬地域の定住人口増加に向けた内容でお考えのことをお話しいただければと思ひます。また、将来的にこういった取組みが必要だとお考えのことをお話しいただければと思ひます。

(委員) 観光の関係で、DMOを作って色々な企画や誘致を全国的に実施されています。枠組みの関係では、現在、豊岡市は京丹後市の枠組みで進めておられますが、全国的・世界的に見ても、少なくともこの地域のことを考えれば、但馬は一つといった枠組みが必要ではないかと思ひます。北但西部の香美町・新温泉町は鳥取県東部との連携もあるなかで鳥取市を中心とした1市8町でそういった枠組みでのDMOの設立を目指して取組みを進めています。DMOは一つに限らず、複数に所属することも可能なようですので、今後、但馬を一つということ考えれば、その辺の検討も必要かなと思ひています。もし、機会がありましたら、そういった検討もお願ひしたいと考えています。

事務局 豊岡市は豊岡観光イノベーションといったDMOを立ち上げています。ご提案いただきましたDMOが今すぐできるかといったことは、なかなか難しいかもしれません。広域連携ということであれば、県が主催でされている「たじまわる」などがありますし、観光の面で広域連携するのは、大変メリットがあると思ひます。DM

〇についても具体的な話がどうなってくるか、情勢を見極めたうえで検討していきたいと思います。ただ、今のところ、各自治体では「基礎体力を高める」、「自分たちの自治体の魅力を高める」ことを一生懸命にしていますので、それらと併せて議論が進んでいくものだと思います。今の段階では、但馬で一つのDMOの設立について、具体的な話にはなっていないと伺っています。

(委員)

例年、商工会と県民局とが一緒になって産業フェアを実施していますが、まだまだ各市町の取組みが非常に鈍い感じがしています。このフェアの目的は地元の若い人たちに但馬にあるすばらしい企業を知ってもらう、また、ビジネスマッチングの場ということで開催しています。そのあたりでもう少し積極的な関わりや参加への協力をお願いしたいと思います。

(委員)

養父市も農業特区で3年目になろうとしています。結構、若者が協力隊として入ってきてもらっています。農業をやりながら、狩猟もやりたいということで頑張っておられる方もあり、住まいは以前の町営住宅を安い家賃で提供したりして、若い人を増やそうとしています。一方では、各集落では一年に5、6人の高齢者が亡くなっていますので、人口の増加は本当に難しいなと実感しています。養父市の山間地域では、豊岡市に出て住もうといった若い方も実際におられます。今も養父市にも轟大根生産組合に18人ほど若い方が入ってきておられます。ふるさと協力隊について、どのような考え方でおられますでしょうか。

事務局

豊岡市では地域おこし協力隊ということで、12名受け入れています。各地域(旧町)単位で受け入れていまして、一番多く受け入れているのが竹野地域で4名、こちらではすでに協力隊を卒業して起業された方もおられます。日高地域を除いて、受け入れている状況です。来年以降も10名程度の隊員を募集する予定としています。出石地域には狩猟をする若い方が入ってきて、区の平均年齢を大きく下げられます。地域を変えようとする、今まで住んでいる人達の視点では変えられません。染みついた考え方ではなかなか難しいですが、外から新しい血を入れることによって、地域が生まれ変わることに繋がりますので、豊岡市では積極的に地域おこし協力隊を活用させていただいています。但馬の各市町でも地域おこし協力隊は積極的に活用されていると聞いています。

副分科会長

農業の関係でお伺いしたいのですが、移住促進で他市町から転入されてきた方が農業をしたいとか、晩年に空き家を買って近くの畑を耕したいという方がいた場合、畑とか3反以上所有していないと売買ができないといった規制がありますが、これはそれぞれの市町で違うのでしょうか。それが転入される方の壁になっている感じがして、撤廃することが必要ではないかと思います。

事務局

養父市は空き家に付随する土地を購入する場合に限って、1aから取得は可能です。豊岡市も移住定住を促すということで市内に移住して3年以内という要件をつけて、空き家に付随した農地に限って、1㎡から取得可能としています。

(委員)

家や畑を管理するのが大変だから売りたいということが多くありますが、借りてみたいといったニーズも多くあります。移住してきてから畑の耕作を1反もしようと思えば大変だと思いますけど、家庭菜園ぐらいであれば家に付随しているものですので、借りたいといったニーズも把握しておくべきだと思います。先日、移住

を目的としたツアーを実施した時にも、「借りられるのであれば、ぜひ借りてみたい」といった声をよく聞きました。家の管理が大変だから売りたいこともあろうかと思いますが、まず、借りてもらって、気に入れば買ってもらうといった多くの選択肢を準備しておくことも必要だと思います。各自治体でもそういったことを念頭に置いて施策展開をされてはいかがでしょうか。

副分科会長

実際に、耕作放棄地が非常に増えていて、農地取得の要件が壁となっていると思います。欲しい人には農地を所有してもらって、耕作してもらうことを進めていかないと耕作放棄地がすごく目立ってきています。

分科会長

他に無いようでしたら次に進みます。本日、兵庫県市町振興課からお越しいただいておりますので、ご意見等がありましたら、よろしく願います。

縣市町振興課

これからは専門職大学の誘致といった取組みもされていくようですし、委員のみなさんが忌憚のない意見交換をお聞きし、まだまだ圏域の課題も多いようです。今後、ビジョンの改訂等をされて、より良いものになっていくと思いますので、県からも引き続き、情報提供等協力をさせていただきたいと思います。

(委員)

最後に確認だけさせてください。専門職大学について、開学する費用は県が出されるのでしょうか。但馬で出すのでしょうか。

事務局

費用の面での役割分担といったことの具体的な話はまだ出ていませんが、県立で誘致をお願いしたいとしています。

分科会長

特にご意見がなければ、これで協議・意見交換を終了とさせていただきます。